

はじめに

**この画期的な「家庭学習法」が、  
あなたのお子さんの可能性を無限に広げる！**

「ユダヤ式？ ちょっとあやしい……」

「いったい、どんなことをやるのかしら？」

いま、あなたはそんな思いを抱きながら、この本を手に行っているのかもしれませんが。

何か難しいことをやるのかな？ 変な学習法を覚えさせられるのでは？

特殊な記憶のテクニックでは？ お金持ちになれる勉強法??

—いえいえ、そのどれも該当しません。

最初にいっておきます。

この本で紹介する「ユダヤ式学習法」は、わずか1日20分で始められます。

しかも、週に3、4日だけでも、十分な効果が期待できる方法です。

「では、その20分で何をどう勉強するの？」

20分間、親子で「あること」をしてもらいます。

といっても、親子で一緒にガリガリ机に向かう必要はまったくありません。

「机に向かわない？ そんなことで成績なんて上がるはずがない！」

あなたはそう思うかもしれませんが。

しかし、本当にたった1日20分、親子で「あること」をするだけで、お子さんの成績は魔法にかかったかのように上がっていくのです。

信じられませんよね？

でも、実際にこの方法で結果を出している人は大勢いるのです。

しかも、この方法だけで、塾にまったく通わずに現役で東大に合格した人さえいるほどなのです。

では、論より証拠。すでに「ユダヤ式学習法」を実践してくれた人の生の声を、あなたに聞いてもらいましょう。

● いままで、ほとんど100点などといったことがなかったのですが、急に、ほとんどのテストプリントが100点になり驚いています。何か魔法にでもかかったかのようなようですが、事実です。

(小4男子の母)

● 勉強を始めて2カ月ほどで偏差値が4教科で20近くも上がりました。こんなことならムリ

やりにでも、もっと早くから始めておくべきだったと後悔しています。大嫌いだった算数もおもしろくなってきたようです。(小6女子の母)

● 下の子が3学期になってから満点の答案をもらってきました。いままで一度もなかったので驚いております。(小2男子の母)

● この夏休みは親子ともども「ユダヤ式学習法」に取り組んできました。その甲斐あってか夏休み明けのテストでは各教科の先生方が目を丸くしながら、「〇〇さん、どうした!! よく頑張ったなあ! 勉強のやり方(コツ)をつかんだの?」といわれるほど成績が上がりました! いままでの娘からは想像もつかないくらいの点数をもらってきて、娘の勉強を見てきた私も、うれしくて飛び上がりたいほどでした。(中2女子の母)

● 子どもへの対応を変えてみたところ、昨日の塾のテストで、理・社でクラスの最高得点を、算数の定着テストで自己ベストの点数をとってきました。本人も自信がついたみたいで、いまは勉強に対して以前のように「イヤだイヤだ」といわなくなりました。「あれ? 自分もやればできるのかな?」と思い始めたようです。本当にありがとうございます!(小5女子の母)

● 娘のほうから「勉強をしよう」と声をかけてくるなんて、いままででは本当に考えられないことです。また、苦手の部類だった理科の勉強に関しては、「理科ってけっこうカンタンだね!」と信じられないような言葉まで出てくるようになり、とてもうれしく、楽しみながら「ユダヤ式学習法」を実践しております。(小6女子の母)

● 中2の1学期中間テストでは5教科220点台だったのが、2学期の期末テストでは娘が目標としていた400点に手が届くようになりました。何よりうれしかったのは、学校の先生からも「明るくなった」といわれたことでした。かつては考えられなかったことですが、自分から「次回はこう頑張りたい」などと目標を口にするようになりました。(中2女子の母)

● 11月の模試では前回10月の模試に比べて偏差値が「国語 45→55 社会 48→56 算数 54→58 理科 45→56 合計 48→57」という具合に、約1カ月で偏差値を9アップすることができました。(小6男子の母)

この親子たちに、いったい何が起こったのでしょうか?  
どんな勉強をすれば、こんな成果が出るのでしょうか?

紹介が遅れました。

私は、家庭学習コンサルタントの坂本七郎といいます。

全国の小中学生とその保護者に対して、「勉強のやり方」や「やる気の高め方」を教える活動をしています。

主に全国でのセミナー開催、保護者向けメールマガジンでの情報提供、各家庭を回り

ながらの「勉強のやり方」指導などを通して、受験に向けた家庭学習のアドバイスを日々行っています。

カンタンにいうと、「**家庭学習のプロ**」ということになります。

また、これまで直接520人の生徒を見てきましたが、いまでも現役塾講師として小中学生に勉強を教えています。

さて、この本で紹介する「ユダヤ式学習法」は、ユダヤ人が行っていた「ある方法」をベースに、私がアレンジしてつくったものです。

こんなことをいうと、あなたは次のように思うかもしれませんね。

「**なぜユダヤ人なの？**」と。

それは、ユダヤ人のこれまでの実績を見てくれば、あなたも納得できると思います。

たとえばノーベル賞。

2008年、4人の日本人（うち1人はアメリカ国籍）が世界的権威であるノーベル賞を受賞するという快挙に日本中が沸きました。

「やっぱり日本人はスゴイ！」

そう思った方も多いと思います。

では、日本人のノーベル賞受賞者はこれまで何人くらいいたかということ、物理学、化学、医学・生理学、経済、文学、平和の全6部門合わせて、16人です（うち1人はアメリカ国籍）。

つまり、日本人は、全受賞者数（2008年までで789人）の2%を占めていることになります。

今度は、ユダヤ人のノーベル賞受賞者について見ていきましょう。

ユダヤ人の人口は、日本人の約10分の1でしかありません。

ということは、日本人受賞者が16人なのですから、ユダヤ人は1人か2人受賞できていればよいほうですよ。

しかし、驚かないでください。

なんとユダヤ人の受賞者は、178人もいるのです（JINFO.ORG調べ）。

全受賞者数が789人ですから、占める割合は23%。

世界的な権威であるノーベル賞受賞者のじつに4人に1人はユダヤ人が占めているということになります。

次に、著名なユダヤ人を一部紹介しましょう。

じつに意外な人物が多いという事実には驚かれることでしょう。

「**20世紀を形づくった3大偉人**」といわれるアインシュタイン、フロイト、マルクス。

サルコジ（フランス大統領）、オルブライト（元アメリカ国務長官）グリーンズパン（元FRB議長）、ディズレイリ（元イギリス首相）、キッシンジャー（元アメリカ外交官、ノーベル平和賞受賞）、チェ・ゲバラ（キューバ革命家）、ジョージ・ソロス（投資家）、スピノザ（哲学者）、カフカ（作家）、シャガール（画家）、モディリアアーニ（画家）、マーラー（作曲家）、メンデルスゾーン（作曲家）、スティーブン・スピルバーグ（映画監督）、ハリソン・フォード（俳優）、ダスティン・ホフマン（俳優）、ビリー・ジョエル（歌手）、エリック・クラプトン（歌手）、ボブ・ディラン（歌手）、ラルフ・ローレン（ファッションデザイナー）、リーバイ・ストラウス（リーバイス創業者）、マックス・ファクター（マックス・ファクター創業者）、エステイ・ローダー（エステイ・ローダー創業者）。

この才能豊かな人たちは、国籍こそ違えども、全員「ユダヤ人」なのです。

さらに、今度はもう少し現実味のあるユダヤ人の実績を紹介しましょう。

ユダヤ人の「**学歴と職業**」についてです。

現在、アメリカには、約530万人のユダヤ人が暮らしています。

比率でいうと、全アメリカ人口の1・78%に相当します。

つまり、アメリカに居住している人100人のうち2人がユダヤ人ということですね。

たとえば、アメリカ人が全員小学校に通っているとします。

ある小学校の1学年の人数がちょうど100人だとすると、そのなかにユダヤ人は2人しかいない計算になります。

これでは、学校のなかでユダヤ人を探すほうが難しいですよ。

しかし、これが大学生となると、ユダヤ人の比率が様変わりしてしまうのです。

名門大学といわれているハーバード、イエール、コーネル、プリンストンにおいては、なんと3～5人に1人はユダヤ人が占めているといわれています。

ユダヤ人は高学歴であることが多く、結果として医師、法律家、大学教授、大企業の管理職などの、いわゆる頭脳労働の要職に就く人が圧倒的に多いのです。

そのため、ユダヤ人の平均年収を調べても、他の民族と比べて高い給与をもらってい

ることは容易に想像できます。

このように、ユダヤ人は本国イスラエルだけでなく、アメリカやイギリス、ドイツやフランスなど世界中で活躍し、一流の功績を残しているのです。

**ノーベル賞を独占し、才能豊かな人材を数多く育て、なおかつ高い学力を身につけているユダヤ人――。**

じつは、そんな彼らが自分たちの勉強に利用している、あるテクニックがあります。そして、このテクニックを応用したものが、この本で紹介している「ユダヤ式学習法」なのです。

別に私は、「この方法でお子さんに勉強させれば、アインシュタインのようになれますよ」とか、「ノーベル賞がとれるようになれますよ」などと非現実的なことをいうつもりはありません。

もちろん、この方法を強制するつもりもありません。

私がこの本であなたにお伝えしたいのは、

「日々の勉強や生活のなかにユダヤ人が使っているこの学習法のスパイスを付け加えることで、手軽にお子さんの『学力』と『やる気』を引き上げてみませんか？」

という、きわめて現実的な提案なのです。

これからお伝えする手順どおりに「ユダヤ式学習法」を実践していけば、あなたのお子さんも、先ほど紹介した親子と同じような成果を出すことができるのです。

この本では、小学生のお子さんがあるお母さんやお父さんを想定して解説が進んでいきますが、中学生のお子さんがある場合でも十分な効果が期待できます。

それは、これまで実践してくれたお母さんたちが証明してくれています。

早い子で2週間、どんなに遅い子でも3カ月で成果が出るようになるでしょう。

## 「日本の子どもたちの学力を・家庭学習から・変えていく!!」

そんな思いをこめて、私はこの本を世に送り出します。

たくさん本の中から偶然この本を手にとり、こうして読んでくれているのは、1つの「縁」なのかもしれません。

しかし、1つだけあなたに伝えておきたいことがあります。

もし、あなたが1日20分でさえも「ユダヤ式学習法」を実践するつもりがないのなら、本を元の位置に戻してください。

この本は、あなたとあなたのお子さんにとって一生を変えるインパクトがあるものだと確信していますが、実践をしなければ、ただの紙くずと化してしまいます。

**『ユダヤ式学習法』のすべてを知りたい。そして、実践をして結果を出したい」**

そんな意識の高いあなたにだけ、「ユダヤ式学習法」のすべてを伝えたいと思います。  
この本の最後のページを閉じたとき、あなたのお子さんにどんな変化が訪れるでしょうか？

そして、どんな未来が待っているのでしょうか？

それでは、さっそく最初の一步を踏み出してみてください。

家庭学習コンサルタント 坂本七郎